

# 木を育てて地球を守ろう

## 花水地区でポット苗作り

花水公民館で3月25日、「自分の家で木を育てよう」と題した講座が開催された。花水地区内福祉村と同公民館の共催事業「花水わくわく教室」の一環で、ポット苗を育てることで、参加者

に地球環境を考えてもらうことが目的。

参加したのは、花水地区に住む小学生から大人までの約20人で、用意された苗と土を使ってタブリノキのポット苗を作った。資材を提供した社会

福祉法人進和学園のプロジェクト「いのちの森づくり」では、完成したポット苗の他にアゲハチョウが卵を産みにくるといふみかんの木も参加者にプレゼントした。



参加者と完成したポット苗

福祉法人進和学園のプロジェクト「いのちの森づくり」では、完成したポット苗の他にアゲハチョウが卵を産みにくるといふみかんの木も参加者にプレゼントした。

同法人関連会社の株式会社研

進の林田雅之さん(70)は、「地球温暖化を防ぐには、木を植えることが大切。SDGsの取り組みにもつながる」と話した。

参加した女性は、「公民館の隣にある桃浜公園に以前から興味があったので参加した。定期的に公園に植樹していることを講義で知り、ありがたいと思った」と話した。